

診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業  
第18回運営委員会 議事概要

日時：平成20年7月23日（水）15：00～17：00

場所：日内会館 4階会議室

出席者：

（委員） 上原鳴夫、山川博之、木村哲、黒田誠。児玉安司、  
鈴木利廣、佐藤慶太、高本眞一、中園一郎、樋口範雄、山口徹

（地域代表）松本博志（札幌地域）、本間覚（茨城地域代理）、  
矢作直樹（東京地域）、山内春夫（新潟地域）、池田洋（愛知地域）  
的場梁次（大阪地域）長崎靖（兵庫地域）居石克夫（福岡地域）

（オブザーバー）

清水信義（岡山労災病院院長）

田林暁一（東北大学心臓血管外科教授）

長村義之（東海大学病理学）

厚生労働省

（事務局）日本内科学会

（敬称略・50音順）

**議題1（各地域の実施状況について）**

資料1「現在の受付事例数について」、資料2「受付の状況等」および資料3-①「各地域の現況」により事務局から報告された。

- ・受付事例累計は70事例、うち評価結果報告書交付事例数は57事例 また、前運営委員会後に発生事例は4事例である。
- ・4事例の内容については、非公開の場で各地域代表より説明を行う。
- ・各地域の状況については、新しく岡山地域および宮城地域が予定されており、詳しくは清水代表および田林代表から報告された。

岡山地域⇒資料3-②「岡山地域提出資料」より清水代表より報告。

地域説明会→平成20年7月26日 受付開始平成20年8月11日より開始予定。

宮城地域⇒資料3-③「宮城地域提出資料」より田林代表より報告。

地域説明会→平成20年10月4日 受付開始平成20年10月6日より開始予定。

## 議題2（研究班より）

資料4「平成19年度医療関連死の調査分析に係る研究」により山口委員より報告された。

- ①解剖調査マニュアル案、
- ②評価の視点・判断基準マニュアル案
- ③調整看護師の標準業務案

資料5「平成20年度診療行為に関連した死亡の調査分析に従事する者の育成及び資質向上のための手法に関する研究」により木村委員より報告された。

- ・報告に先だって、座長より研究を行う上に参考にするためモデル事業で終了した評価結果報告書の閲覧を許可願いたい。各委員異議なし本件は運営委員会の了解を得たものである。
- ・19年度までに行った「医療関連死の調査分析に係る研究」を継承し、より洗練されたものにするため、更に問題点・改善を要する点を明らかし、改善を図るため、次により研究を行う。
- ・研究グループの立ち上げとグループの役割分担（案）
  - ①届出等判断の標準化検討グループ（責任担当者 Dr 山口・高本）
  - ②事例受付対応マニュアル検討グループ（責任担当者 Dr 矢作・種田）
  - ③解剖調査マニュアル検討グループ（責任担当者 Dr 深山）
  - ④事例評価法・報告書作成マニュアル検討グループ（責任担当者 Dr 宮田・城山）
  - ⑤調整看護師業務マニュアル検討グループ（責任担当者 Dr 日本看護協会理事）
  - ⑥遺族等の追跡調査（責任担当者 Dr 吉田）

## 議題3（制度化にむけて今後検討すべき課題）

資料6「制度化に向けて 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業において今後検討するべき課題（案）」により山口委員より説明を行った。

- ・資料に基づき4点の課題を説明したが、中でも一番目の「大綱（案）における中央委員会に関連して」であるが、再発防止策の具体的な方策、手順を検討するためのWGを設置してはどうかという課題であるが、上原委員が中心となって行って欲しい旨の発言があり、本件については各委員の異論もなく了承された。

## 議題4（今後のモデル事業のスケジュールについて）

資料7「今後のモデル事業のスケジュールについて」により山口委員より説明を行った。

- ・鈴木委員より、仮に法案が成立しなくともモデル事業は引き続き受付は行うべきではないか、また5年が過ぎてもNPOとかに引き継ぐ等を考えてはどうか？
- ・佐原室長より、清算事業（経費）は財務省との兼ね合いで通りにくい話である。補助金は5年限りのものであり、6年目に入る場合の保証はない。

#### 議題5（評価結果報告書のひな形改訂案について）

資料8「評価結果報告書のひな形改訂（案）について」により山口委員より説明を行った。

- ・特段の異議もなく了承された

#### 議題6（死後画像撮影に関するアンケートについて）

資料9「死後画像撮影に関するアンケートについて」により山口委員より説明を行った。

- ・特段の異議もなく了承された

#### 議題7（これまでの主な受付事例・相談事例について）（非公開）

各代表より個別に報告された。

#### 次回の日程について

次回は9月以降に開催したい、追って日程調整を行う。